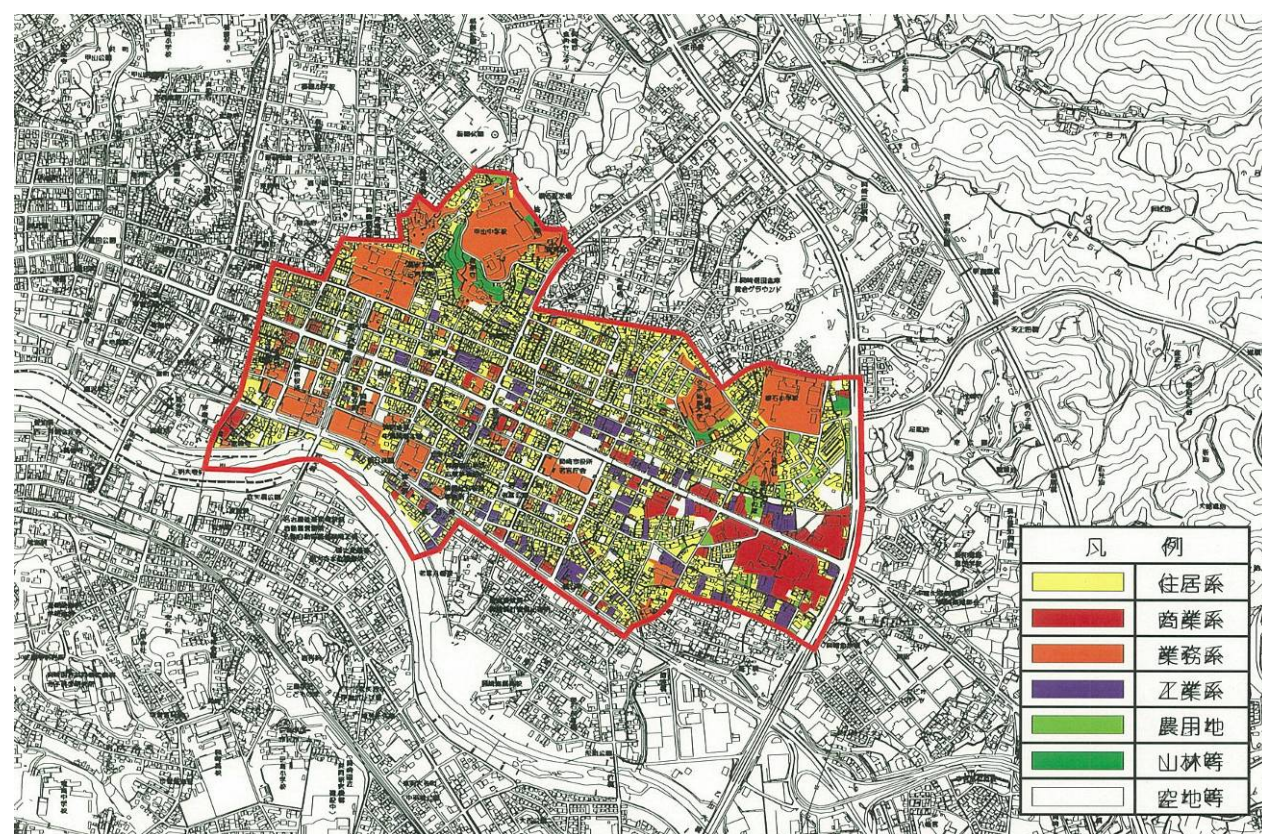


□十王・若宮地区におけるまちづくりのあらまし

～ まちづくり交付金制度の活用と事後評価 ～

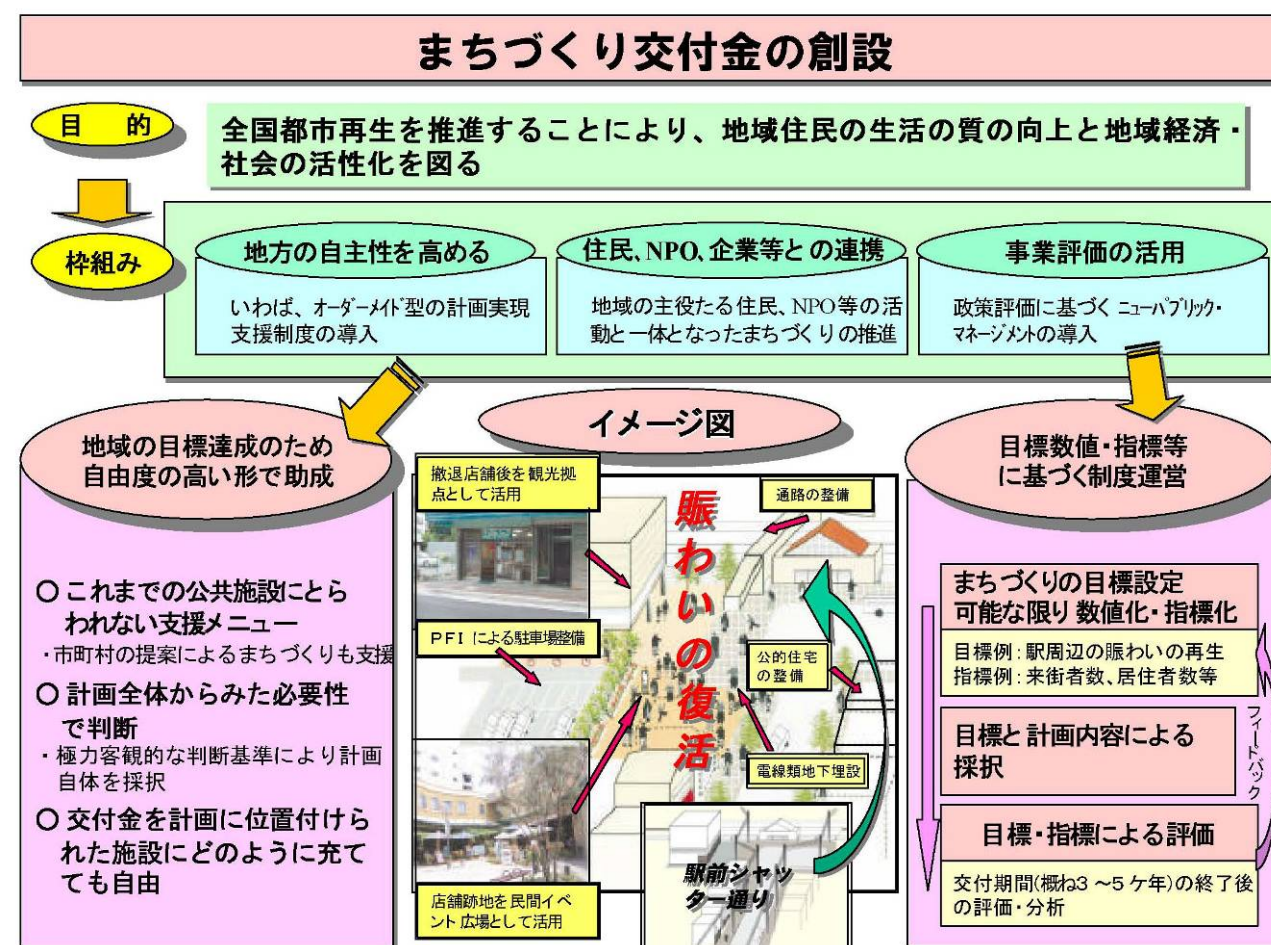
- 岡崎市十王・若宮地区においては、平成 18 年度～平成 22 年度にかけて、まちづくり交付金制度を活用したまちづくりを展開しています。
- この制度は、公共公益施設等の事業を個別に実施するのではなく、地区のまちづくりの目標のもと、市町村の創意工夫により事業を組み立て、一元的かつ効果的に整備を実施する自由度の高い制度です。
- この制度の活用にあたり、十王・若宮地区では、**都市再生整備計画**を定めて国の採択を受け、交付金の交付を受けて、計画に定めた事業を実施しています。
- 計画期間の最終年度である平成 22 年度は、まちづくりの成果について、可能な限り数値化された指標に基づいて、事後評価を行うこととされています。

<対象地区> 岡崎市十王・若宮地区 (130.0ha)
 区域：若宮町、曙町、西中町、蓬莱町、両町の全部 及び
 十王町、旭町、梅園町、欠町、菅生町、伝馬通、中町、根石町、
 元欠町、門前町の一部)

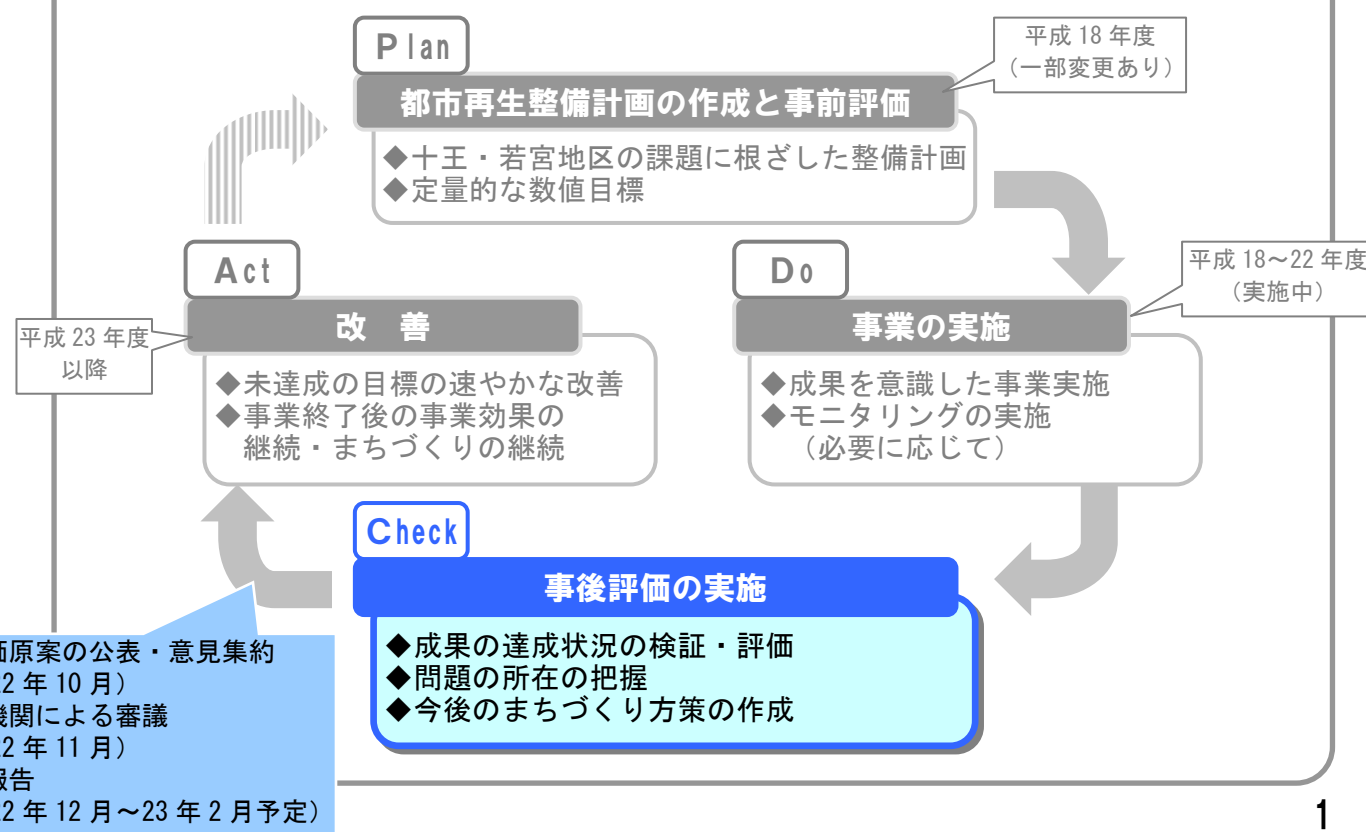


<計画期間> 平成 18 年度～平成 22 年度

<まちづくり交付金制度の概要と事後評価のしくみ>



十王・若宮地区におけるまちづくり交付金の“PDCA”サイクル



- ①事後評価原案の公表・意見集約 (平成 22 年 10 月)
- ②第三者機関による審議 (平成 22 年 11 月)
- ③国への報告 (平成 22 年 12 月～23 年 2 月予定)

十王・若宮地区都市再生整備計画の概要とまちづくり交付金事業の進捗状況（平成 22 年 4 月現在）

□目標・目標を定量化する指標

大目標「業務機能の集積と良好な都市基盤を背景とした、安全安心・快適なまちづくり」

目標 1：岡崎げんき館を中心とした健康づくり活動の活性化

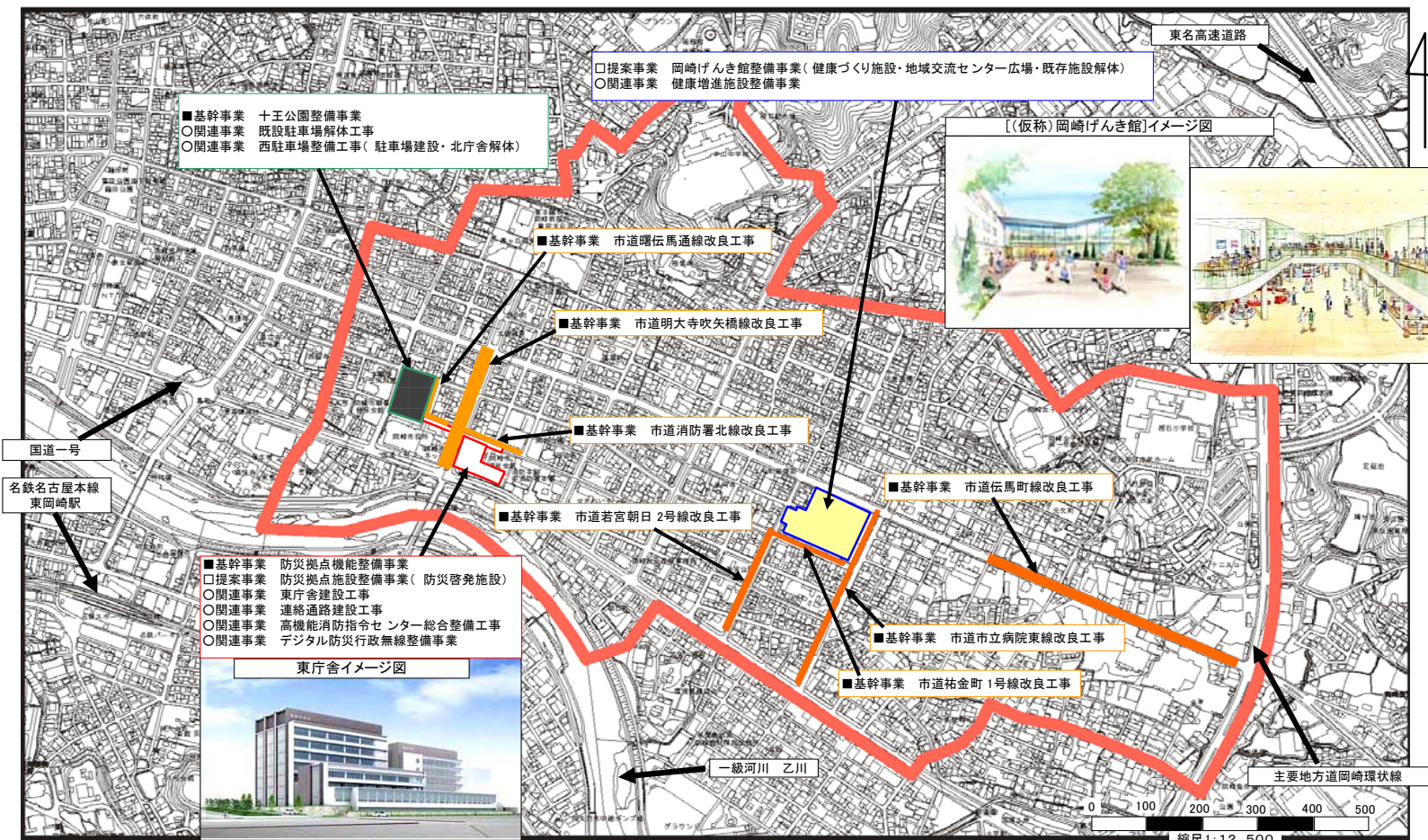
目標 2：防災意識の向上による防災活動の活性化

整備方針

- ・公道等の都市基盤の整備
- ・防災意識の向上による防災活動の活性化
- ・元気と活力を創造する拠点整備

指標（単位）	従前値（平成 17 年度）	目標値（平成 22 年度）
指標 1：健康づくり支援施設利用者数（人／年度）	38,000 人	235,000 人
指標 2：防災訓練・講習等参加者数（人／年度）	24,000 人	120,000 人
指標 3：市民共同イベント参加者数（人／年度）	3,000 人	12,000 人

□整備方針概要図



□十王・若宮地区の課題

○道路幅に比して狭隘な歩道の拡幅、交通規制の見直しなど居住者の日常に配慮した都市基盤の整備

□まちづくり交付金事業の進捗状況（平成 22 年 4 月現在）

事業／事業箇所名	進捗状況
基幹事業 道路／市道消防署北線	H18・H19 で計画通り完了
道路／市道曙伝馬通線	H20 で計画通り完了
道路／市道明大寺吹矢橋線	H20～H22 で計画通り完了（予定）
道路／市道伝馬町線	H19～H21 で計画通り完了
道路／市道市立病院東線	H18・H19 で計画通り完了
道路／市道祐金町 1 号線	H19 で計画通り完了
道路／市道若宮朝日 2 号線	H20・H21 で計画通り完了
公園／十王公園整備事業	H20 で計画通り完了
地域生活基盤施設／ 防災拠点機能整備事業	H18～H21 で計画通り完了
提案事業 地域創造支援事業／ 防災拠点施設整備事業 （防災啓発施設）	H18・H19 で計画通り完了
地域創造支援事業／ 岡崎げんき館整備事業	H19～H22 で計画通り完了（予定） ※げんき館は計画通り H20 年 3 月オープン、PFI 事業者への支払いが 25 年間発生
関連事業 庁舎建設事業／ 東庁舎建設工事	H17～H19 で計画通り完了
庁舎建設事業／ 連絡通路建設工事	H18・H19 で計画通り完了
庁舎建設事業／ 既設駐車場解体工事	H18 で計画通り完了
庁舎周辺整備事業／ 西駐車場建設工事	H19・H20 で計画通り完了
高機能消防指令センター総合整備工事	H18 で計画通り完了
健康増進施設整備事業	H18・H19 で計画通り完了
デジタル防災行政無線整備事業／ 中継局・移動無線局	H20・H21 で計画通り完了

※すべての事業において計画通り完了、または完了が見込まれています。